

自民党衆議院議員

みやじ拓馬

国会通信Vol.35

政治は国民のもの
自民党
www.jimto.jp

■第9回 宮路拓馬と国政を語る会を開催させていただきました■

今回は「働き方改革」の旗手であり、産業競争力会議をはじめ政府の審議会の委員等を多数務めておられる(株)ワーク・ライフバランスの小室淑恵社長に「経営戦略としての働き方改革」についてご講演いただきました。様々なデータを用いて、人口・社会構造の変化から、**長時間労働の是正と多様な人材の必要性**、さらには**具体的な働き方改革の進め方**など、幅広い内容についてご講演を賜り、出席者の皆様から大変ご好評をいただきました。

我が事務所も6月に第一子が生まれた男性秘書に育児休暇を取得してもらいながら、チーム一丸となって仕事をしています。「隗より始めよ」の言葉通り、まずは事務所として働き方改革に率先して取り組み、パフォーマンスも存分に発揮してまいります！



■講師として「政治の実相」を語りました■

中学時代からの友人である前田恵一君の主催する「**前田塾トップキャリアコース**」で講師を務めました。

医師、弁護士、官僚、コンサル、大手企業社員など、20代～30代半ばまでの優秀な社会人の皆さんを前に、普段あまり身近に感じる事のない政治の実相や政策立案過程などについて講義を行いました。

質疑応答では質問が途切れず「ビジネスと政治の関係について考える貴重な機会となった」「政治の面白さに気付いた」など嬉しい反応とともに、高い評価をいただきました！



■「新時代の幕開け」、「未来を切り拓く」■

自民党本部4Fにある総裁室の前に貼られている党のポスターの作画は、ゲームソフト『ファイナルファンタジー』シリーズでもお馴染みの、繊細で幻想的な絵柄で世界的にも評価の高い天野善孝氏です。また、「**新時代の幕開け**」「**未来を切り拓く**」とのメッセージは若者に向けたメッセージでもあります。

同ポスターを前に「**政治への関心を高めていただく努力と工夫を重ねていかなければならない**」との思いを新たにしました。



みやじ拓馬後援会事務所

〒892-0838 鹿児島市 新屋敷町16-422
TEL:099-295-4860 FAX:099-295-4861
Email:staff.miyaji.takuma@gmail.com

HP → <http://miyaji-takuma.com>

みやじ拓馬

検索

活動の様子をFacebookで更新中！

■ 国立特別支援教育総合研究所(特総研)に視察に行ってきました。 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

特総研は障害のある子どもの教育に関する研究・研修・普及などを行う**唯一の国立の施設**であり、今回は**盲ろう教育の最前線**について学ぶ目的で訪問しました。

今回、説明をして下さった星裕子インクルーシブ教育システム推進センター長は、私が学生時代に先天性盲ろう児の森敦史君のサポートをしていた頃、彼が通う筑波大付属盲学校の担任をされていた方で、昔話に花を咲かせながら充実した視察となりました。

盲ろう教育はこれまであまり光が当たらない分野と言われてきましたが、医療やテクノロジーの進歩に伴い、**盲ろう児に対する教育の必要性は高まってきています。「自分がやらずに誰がやる」との気概を持ってその推進に努めてまいります！**



■ 鹿児島海上保安部を訪問しました！ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

私は公務員時代、総務省から内閣官房へ出向し、安全保障・危機管理の任務にあたらせていただきました。同ポストは、地震・台風・豪雨などの自然災害のほか、北朝鮮によるミサイル発射や尖閣諸島周辺海域の警備など、対応すべき事案が多岐にわたります。そのため、警察庁、防衛省・自衛隊、国交省・海上保安庁など、**多数の省庁職員と一丸となって仕事**をしていました。

そのときを思い出しながら「**かつて同じ釜の飯を食った仲間**」として、昨今ますます緊迫化する尖閣諸島周辺海域や多発する大規模自然災害における海上保安庁の活動について、意見交換を行いました。

安全保障・危機管理は国政のど真ん中です。これまでの経験を生かし、その充実・強化に努めてまいります！



■ みやじ拓馬吉田後援会発足式を開催させていただきました ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

今回は、私にとって新たな選挙区である鹿児島1区における初めての後援会設立となります。

これまで地道にコツコツとミニ集会を重ね、吉田地域の皆様と信頼関係を築いてきた上での発足です。当日、88名の錚々たる顔触れの皆様にご参加いただいたことは本当に心強く、**責任の重さに身の引き締まる思い**です。

ここを出発点として、鹿児島1区の議席奪還に向け、さらに加速してまいります！



～閑話休題～

党の機関誌『自由民主』2851号の「私の推しメシ」欄に寄稿させていただきました。

白くまを全国の皆様に知っていただけたのではないかと思います。

私の **推しメシ** 宮路 拓馬 衆院議員 *思わず食べたい*



私の「推しメシ」は「白くま」です。もちろん、動物の白くまではなく、私の地元である鹿児島市発祥の氷菓です(笑)。
鹿児島ではかき氷の代表格として昭和の前期から親しまれ、地元の名店「天文館むじやき」では夏になると待ち行列ができます。また、最近では市内各地の喫茶店や飲食店に多く、その姿が白くまに似ていることからその名がつけられたという説があります。

鹿児島県発祥「白くま」

戦直後に、ミルクシロップをかけたかき氷に、寒くまもあり、インスタや羊羹、あずき豆、夕映えもパツチリで缶詰のフルーツ、干しブドウなどを色鮮やかに盛り付けたものを考案し、その姿が白くまに似ていることからその名がつけられたという説があります。いすれにせよ商標権は取られておらず、今では県外でもカップ入り氷菓や棒状アイスミルクとして製造・販売されています。最近では季節を問わず人気の白くま。プリンやヨーグルトをのせたものや、コーヒースロップをかけた「黒

①ある綿屋が夏の間として販売していた練乳をかけたかき氷の名に、その練乳の缶のラベルに描かれていた白くまを拝借したと天文館むじやきの創業者が終戦直後に、ミルクシロップをかけたかき氷に、寒くまもあり、インスタや羊羹、あずき豆、夕映えもパツチリで缶詰のフルーツ、干しブドウなどを色鮮やかに盛り付けたものを考案し、その姿が白くまに似ていることからその名がつけられたという説があります。いすれにせよ商標権は取られておらず、今では県外でもカップ入り氷菓や棒状アイスミルクとして製造・販売されています。最近では季節を問わず人気の白くま。プリンやヨーグルトをのせたものや、コーヒースロップをかけた「黒